



理学部「わかやま環境賞」を受賞！

本校理学部では、紀ノ川下流における水生生物調査研究を行っており、不明瞭な紀ノ川下流域における現在の水生生物相について状況を整理するだけでなく、下流域に生息する魚類の生態を明らかにすることで、紀の川下流で求められる保全活動を示し、保全活動時の一参考資料を目指しています。昨年度末に「第23回わかやま環境賞」に応募したところ、「わかやま環境賞」を受賞することができました。6月5日（水）には和歌山県庁にて表彰式が開催され、6名の生徒が表彰していただきました。



活動のようす

和歌山新報（2024年6月1日）

環境保全に関する活動が他の模範となる個人・団体に贈る「第23回わかやま環境賞」の受賞者が決まった。「わかやま環境大賞」の県立熊野高校Kumanoサポーターズリーダー（上富田町）など5団体が受賞し、5日に県庁で表彰式が行われる。

熊野高の活動に大賞

第23回わかやま環境賞決まる

ポーターズリーダーは、自動体外式除細動器（AED）を使う際に患者のプライバシーを守るため、姿が周囲に見えないように体を覆う「AEDシート」を廃棄傘を活用して開発。関連団

B組の3団体。同社は、紙パックなどのリサイクル紙を原料とする糸を開発し、これを用いた製品の普及によりリサイクル率の向上に取り組んでいる。

活動に取り組んでいる。特別賞は県立南紀はまゆう支援学校（上富田町）が受賞。観光地のごみ問題について学習し、実際に地域で清掃活動を行っている。

和歌山県庁にて表彰式が開催され、6名の生徒が表彰していただきました。

和歌山県庁にて表彰式が開催され、6名の生徒が表彰していただきました。